

# 身体感覚を表す南予の方言について

～不快・不具合感を表す表現を中心として～

1年3組 清家 諒香  
指導者 教諭 渡部 陽子

## 1 課題設定の理由

以前祖母と会話をしていた時、祖母はもともと頻繁に方言を使うのだが「いびしい」という言葉を初めて聞いた。「いびしい」という身体感覚、特に不快感を表す表現の特徴について調べてみたいと思った。この言葉を使う地域はどこか、また、一般的に「宇和島の方言」と言われている「ぐつ・じゅう」が悪いという言い方をしている地域は、南予のどのあたりの地域なのかを調べてみたいと思い、この課題を設定した。

## 2 仮説

「いびしい」という言葉を使っている人にこれまでほとんど会ったことがないので、南予、宇和島圏域でもあまり使われなくなっているのではないかと考えた。また、「いびしい」以外の不快な身体感覚を表す言葉の使い方には、何らかの地域性がみられるのではないかと考えた。

## 3 研究の方法

### (1) 方法

アンケートを行い、その結果から世代、地域出身ごとにどのような傾向があるのか、特に、不快感を表す言葉の使われ方に地域性があるのか、などについて分析する。

### (2) 調査対象

宇和島東高校1年3組・先生方・友人 総数82人

### (3) 調査内容

#### ① (着ている服が濡れてうっとうしいとき)

「いびしい」という言葉を使うか。

#### ② (服のサイズが合わないなど具合が悪いとき)

「ぐつが悪い」「じゅうが悪い」のどちらを使うか。

## 4 結果と考察

### (1) 結果

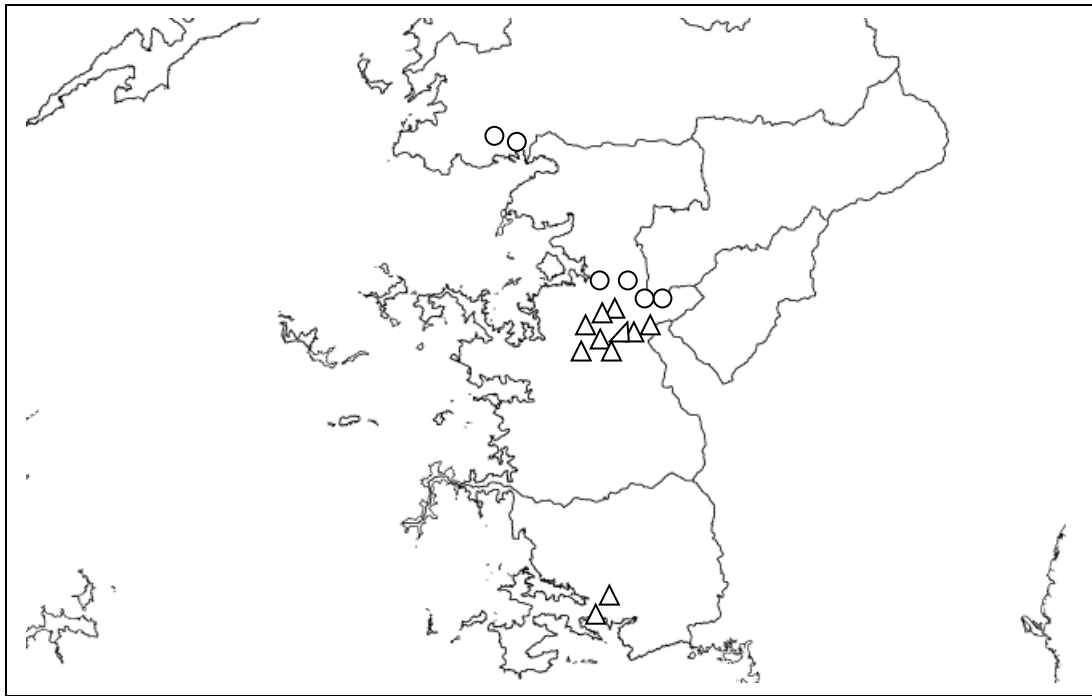
アンケートの調査結果を表1、2にまとめた。また、それらをもとに図1にマッピングを試みた。

表1:「いびしい」の使用人数

| 年齢    | 宇和島  | 三間  | 津島  | 鬼北  | 吉田  | 愛南  | 宇和  | 明浜  | 松野  |
|-------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 10~39 | 0/24 | 0/5 | 0/1 | 0/2 | 0/2 | 1/2 | 0/1 | 0/3 | 0/1 |
| 40~59 | 1/17 | 0/1 |     | 0/3 | 0/3 |     | 1/3 |     |     |
| 60~   | 2/2  |     |     | 0/1 |     |     |     |     |     |
| 計     | 3/43 | 0/6 | 0/1 | 0/6 | 0/5 | 1/2 | 1/4 | 0/3 | 0/1 |

表2:「じゅうが悪い」と「ぐつが悪い」のどちらをよく使うかについて

|        |                   |
|--------|-------------------|
| じゅうが悪い | 宇和島・愛南・松野         |
| ぐつが悪い  | 三間・津島・鬼北・吉田・宇和・明浜 |



○「じゅうが悪い」を使う △「ぐつが悪い」を使う

図1:「じゅうが悪い」「ぐつが悪い」の調査結果のマッピング

## (2) 考察

宇和島に住んでいても、もともと方言をあまり使わない人がいることが分かった。「いびしい」は知らない人も多かったため、そのうち南予地方の方言から消えてしまうかもしれない。「じゅうが悪い」・「ぐつが悪い」は、どちらも宇和島の方言だとされているが、今回の調査では、旧宇和島市では「じゅうが悪い」を使う人の方が多いたことが分かる。また、松野町を除く旧北宇和郡内の市町では、「ぐつが悪い」を使っている人が比較的多い。松野町は高知県との県境であるため、高知の「幡多弁」の影響を受けているのかもしれない。不快感・不具合感を表す表現の使い方には、地域性があることが分かった。

今回調査した言葉を、関東地方に住んでいる知人に聞いてみたところ、調べた言葉はすべて知らなかったため、南予地方の方言の面白さを感じた。現代はマスメディアの普及により、標準語を耳にすることが多く、それに耳が慣れている。さらに海外との交流も増えたため、誰にでも理解できる標準語が重視される傾向があるのかも知れない。また、別の理由として、明治35年「国語調査委員会」によって「方言を調査して標準語を選定すること」が方針として提示され、教育界もこれになったようだ。明治時代から第二次世界大戦後、日本では「方言＝汚い言葉」(『愛媛ことば図鑑』土居中 昭著)とされたという。現代を待つまでもなく、明治以降の近代化の中で方言が駆逐される背景があったということである。「宇和島の方言」が少しずつ消えつつあるのはとても寂しいことだが、言葉が変化するものである以上、仕方のないことなのかもしれない。

## 5 今後の課題

今回は、アンケートを取った人数が少なかったため、十分な資料となり得ているかどうか、再度検証が必要である。また、南予地域を調査対象にするだけでなく、愛媛県全体を調査対象とすることで、愛媛の「南予」「宇和島」の方言の独自性や特徴を探っていくことができるのではないかと考えられる。

## 参考文献

- ・ 故郷語 <http://www32.tok2.com/home2/rusei/read/read1.html>
- ・ 愛媛ことば図鑑「土井中 照」アトラス出版